

略号 U = Unit / LR = Let's Read / RLE = Real Life English / UA = Unit Activity / SA = Stage Activity / FR = Further Reading / 学び = 学び方コーナー

1. 教育基本法との関連

項目	観点	特色	具体例
第1号	①幅広い知識と教養、真理を求める態度	・多様な文化的背景を持った登場人物たちの物語を通じて、相手の立場に立って理解しようとする態度や広い視野でものごとを捉える力を育みます。	全体
	②豊かな情操と道徳心	・多文化共生や国際協力、生命の尊さ、人権など、生徒の心情に訴えるような題材を取り上げ、豊かな情操と道徳心を培うことができるよう配慮しています。	1年 U8 (p.91)、LR (p.126) / 2年 LR2 (p.84) / 3年 U2 (p.19)、LR1 (p.46)、U5 (p.61) など
第2号	③個人の価値の尊重、能力、創造性、自主及び自律の精神	・グローバル時代に生きる全ての日本人に求められるコミュニケーション能力を育みます。英語を学ぶことで身につく見方・考え方が国や文化の違いを越えて人と人を結ぶ豊かなコミュニケーションをもたらすことへの気づきを与え、グローバルな視点での発言や行動に結びつけていくことをめざしています。	1年 U4 (p.43) / 2年 U4 (p.49) / 3年 U6 (p.77) など
	④職業及び生活との関連、勤労を重んずる態度	・働く人の姿を紹介したり、職業体験のエピソードなどを取り上げたりすることで勤労意識を醸成するとともに、AIが普及する時代に人間が働くことについて深く考える機会を与えます。	1年 U5 (p.61) / 2年 U3 (p.29)、RLE3 (p.37)、Learning Technology in English (p.38) / 3年 U4 (p.51) など
第3号	⑤正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力	・対話的な学習を促すために、ペアやグループで取り組むコミュニケーション活動を豊富に用意し、相手意識を持ってコミュニケーションを行ったり、相手の立場に立って考えたり、協力し合ったりする心を育みます。 ・イラストや写真を含め、ジェンダーにとらわれることなく男女が協力して生きる様子を取り上げています。かつ、社会で働く人の姿についても男女を取り上げています。	・1年 Enjoy Communication (p.12 など) / 各学年 UA (2年 p.16 など) / 各学年 SA (3年 p.42 など) など ・1年 U10 (p.113) / 2年 U3 (p.29) / 3年 FR (p.102) など
	⑥公共の精神、社会の発展に寄与する態度	・地域社会の一員として、英語を通じて社会への参画意識を持たせるとともに、その発展に寄与する態度を養います。	1年 U8 (p.91) / 2年 U5 (p.59) / 3年 U4 (p.51) など
第4号	⑦生命を尊び、環境の保全に寄与する態度	・自然を大切にしたり、環境の保全を意識したりするような題材を取り上げています。	1年 U8 (p.91) / 2年 LR3 (p.104) / 3年 U3 (p.31) など
第5号	⑧伝統と文化の尊重、我が国と郷土を愛する態度	・世界に日本の良さを発信しようとする生徒を育てるために、伝統や文化、自然に関する題材を取り上げています。また、国語との関連を図り、日本語との関連から英語について学べるような資料を掲載し、言葉への豊かな感性と情操を育成します。	1年 U6 (p.71)、LR (p.126) / 2年 U7 (p.89) / 3年 U1 (p.9)、SA1 (p.42) など
	⑨他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度	・グローバル社会で生きることを意識し、海外の生活や文化を理解し、尊重する心を育み、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養います。	2年 U4 (p.49) / 3年 U6 (p.77) など

2. 教育課程及び学習指導要領への対応

項目	観点	特色	具体例
1 全体	①学習指導要領に準じた内容になっているか。	・言語材料の知識と技能を基に、生徒が自分で思考し、判断したことを適切に表現することを深い学びととらえ、コミュニケーション能力を育成するために段階的な活動を用意しています。 ・目的・場面・状況に応じて英語で意思や情報を伝え合う活動など、対話的な学習を促しています。さらに、話されたり書かれたりしたことの意図や背景を推測したり、自分の考えを深めてそれを表現につなげたりするようなコミュニケーション活動を充実させています。	・全体 ・各学年 UA (1年 p.68 など) / 各学年 SA (2年 p.40 など) / 2・3年 Unit の Read and Think (3年 p.13 など)
	②目標は適切に設定されているか。	・小中高の学びを見通したうえで、各学年・各学期の到達点(目標)を CAN-DO リストとして示し、明確な到達点に向かって学習を進められるようにしています。 ・2・3年では各 Unit のタイトルを単元を貫く「問い」とし、単元の学習を通じていつでも到達点(目標)が確認できます。巻末には問いに対応した書き込みスペースなどがあり、ふり返りや自己評価をすることができます。	・1年 pp.4-5 / 2・3年 pp.2-3 / 各学年巻末 CAN-DO リスト ・2・3年 Unit (2年 p.9 など) / 2・3年 Unit Activity Plus (3年 p.135 など)
2 内容・系統	③学習の成果を見取る活動が適切に設定されているか。	・Activity (Unit 途中) ⇒ Unit Activity (Unit 末) ⇒ Stage Activity (学期末・年3回) という順で、全体を通して Stage Activity に向けて活動を系統的に積み上げ、パフォーマンス評価を行うことができます。	各学年 Unit の Activity (1年 p.63 など) / 各学年 UA (2年 p.16 など) / 各学年 SA (3年 p.42 など)
	④4技能5領域の活動がバランスよく配置されているか。	・Unit では目的・場面・状況を意識し、4技能5領域をバランスよく活用しながら学習を行います。 ・Stage Activity では複数の技能・領域を統合的に活用し、相手意識を持った言語活動を行います。 ・Real Life English では「聞く」「話す(やり取り)」「書く」の技能・領域に焦点を当て、よりリアルな場面設定のもとで実践的なコミュニケーション力を伸ばします。	・各学年 Unit (1年 p.11 など) ・各学年 SA (2年 p.40 など) ・各学年 RLE (3年 p.17 など)
	⑤知識・技能と思考力・判断力・表現力などがバランスよく身につくよう配慮されているか。	・Unit・Real Life English・Stage Activity の3つの主要単元で、知識・技能の習得と活用をくり返しながらか、思考力・判断力・表現力などの育成をめざします。いずれの単元でも、言語を使用する目的・場面・状況を意識して活動に取り組めるような仕組みにしています。	全体 / 各学年 Unit の Preview (1年 p.61 など)
3 組織・配列	⑥学習方法や授業展開がわかりやすい構成になっているか。	・1ページあたり1時間を基本とし、時間配当や年間指導計画を把握しやすい構成にしています。 ・各 Unit のパート構成を同じにし、学習の流れを見通しやすくしています。	全体 (各学年前見返しなど)
	⑦学習事項は発達段階に応じて適切に配列されているか。	・全学年を通して、既習事項をスパイラルに学習できる構成になっています。 ・Unit 0 では前学年までの学習を復習できます (1年 Unit 0 は小学校の復習)。	・全体 : 2年 U3 (p.29)、U7 (p.89) / 3年 U1 (p.9)、U3 (p.31) など ・1年 U0 (p.6) / 2・3年 U0 (p.6)
	⑧小学校や高等学校との適切な連携が図られているか。	・1年の前半の単元を小学校の学習内容の接続期間として充てているため、小学校の言語材料や単語を余裕を持ってふり返ることができます。 ・Sounds and Letters では音と文字の関係を扱い、小学校の音を中心とした学び方から中学校での読み書きにつなぎます。 ・3年では、高等学校の学習への接続のため、段階的にリーディングの語数を増やし、発達段階に合わせた課題を設定しています。	・1年 U0-U4 (p.6 など)、夏休み特集 (p.57) ・1年 Sounds and Letters (p.8 など) ・3年 U4-6 (p.51 など)
4 分量	⑨文章量は適切か。	・標準時間内で無理なく学習ができるよう、現行版の教科書と比較して1年を中心に文章量や新出語数を調整しました。同時に、高等学校への接続の観点から、入試で扱われる分量を想定して段階的に英文の量や活動の種類を充実させています。	全体 : 1年 U1 (p.11)、U5 (p.61) / 2年 U1 (p.9) / 3年 U4-6 (p.51 など)、LR3 (p.96) など

項目	観点	特色	具体例
	⑩語彙の選定基準及び語数は適切か。	<ul style="list-style-type: none"> 語彙は、小学校の教科書や従来中学校で扱ってきたもの、CEFR-Jの語彙リストのA1レベルを中心に選定しています。小学校で学習したとみなされる語を630語と設定し、それに中学校の新出語約1,700語を加えた約2,300語を扱っています。 上記約2,300語のうち合計800語を「発信まで使えるようになりたい語」と設定し、本文側注と巻末Word Listに太字で示しています。この800語は、全ての生徒の発信語彙としてくり返し提示して定着できるようにしています。 中学校新出の1,700語は、教科書本文だけでなく本文以外の部分で扱う語も含め、生徒の負担を軽減しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 1年U1 (p.13 側注) など 3年Word List (p.105) など 1年Word Room (p.140) など
5 デジタル化への対応	⑪学びを促進するためのデジタルコンテンツが用意されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 紙面に付した277箇所のQRコードからアクセスできる1,205項目・3,298ファイルの映像や音声などを、学校や家庭での学習で活用できます。 ストーリー性の豊かなアニメ映像や、楽しく文法を学べるKey Sentences解説動画など、生徒が自発的に学びたいようなコンテンツを豊富に用意しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体 (1年口絵/2・3年p.1 など) 全体 (1年p.11/2・3年p.10 など)
	⑫授業でも活用しやすいデジタルコンテンツが用意されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 制度化された学習者用デジタル教科書を発行します。紙面拡大機能、映像・音声の再生機能などがあるため、学習の効率化・充実化が図れます。また現行版に比べて動作が軽量化されています。 	全体
6 令和の日本型学校教育	⑬個別最適な学びに適した内容が用意されているか。	<ul style="list-style-type: none"> QRコードからアクセスできる本文や語句の音声(スピード変更、スラッシュ表示、カラオケ機能、マスク表示機能付き)を活用して、一人ひとりにあった学び方ができるようにしています。 Key Sentences解説動画やWord Roomなど学年を超えて参照したいコンテンツは、どの学年の教科書のQRコードからでも3学年分のコンテンツにアクセスでき、既習事項や語彙・表現の確認に役立ちます。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体 (1年p.13 など) 1年p.13/2年p.142 など
	⑭協働的な学びに適した内容が用意されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 協働して問題解決を行う活動やグループでの発表活動などを教科書全体で豊富に用意し、対話的な学びの機会を担保しています。 QRコードからアクセスできるActivity Sheetや思考ツールは書き込みや保存が可能で、授業支援ツールを用いた学習に便利です。 	<ul style="list-style-type: none"> 各学年UA (1年p.68 など) / 各学年SA (2年p.40 など) など 各学年UA (1年p.68 など)
7 学習支援と指導支援	⑮特別支援教育やユニバーサルデザインへの配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> 小学校用教科書で使用している視認性や書きやすさに配慮された書体を採用し、1年の全体で使用しています。 本文やNew Words、Key Sentencesなど、紙面上の要素のデザインや配置を統一しているので、安心して学習に取り組むことができます。 色覚特性の専門家による校閲を受け、カラーユニバーサルデザインの観点から配色及びデザインの検証を行いました。 拡大教科書を発行し、全ての生徒に教育の機会均等を保障します。 	<ul style="list-style-type: none"> 1年全体 全体
	⑯教員の負担軽減への取り組みがなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> 1ページあたり1時間を基本とし、時間配当や年間指導計画を把握しやすい構成にしています。 指導書には、4線つき・なぞり書き用フォントや、教科書のイラストデータなど、教材作成に便利なデータが豊富に収録されています。 	全体 (1年pp.12-17 など)
	⑰少人数学習は考慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 少人数学習を実施する学校でも使いやすいように、ペアやグループでの学習を入れたり、進度によって使える練習問題などのデジタルコンテンツを用意しています。 	全体: 1年Enjoy Communication (p.12 など) / 各学年巻末Small Talk (2年p.145 など) / 3年p.10 など
8 学習の習慣化(規律・態度等)	⑯自主的・自律的な学びを支援する工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> 授業以外の場でも英語の音声や動画を視聴できるよう、QRコードやURLを付しています。 「学び方コーナー」では英語学習のポイントやコツを3学年通して系統的に取り上げ、生涯英語を学ぶ主体的な学習態度を育成することをめざしています。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体 各学年学び (1年p.2 など)
9 言語力の育成	⑲日本語との違いに気づかせる工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> 日本語で親しみのある物語を英語で読んだり、俳句と英語の伝統的な詩を比較したりするなど、国語との連携を図った学習ができるようにしています。 「学び方コーナー」や「語順カード」で日本語との違いを意識した学習ができるようにしています。 	<ul style="list-style-type: none"> 1年LR (p.126) / 2年FR (p.110) / 3年Learning Japanese in English (p.18) 1年学び4 (p.3)、p.10、巻末語順カード
	⑳読解力の育成に工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> 説明文や物語、対話文、スピーチなどさまざまなタイプの文章を取り上げています。 図やグラフを含む非連続型テキストの読解力の育成にも配慮しています。 長い文章の「概要」「必要な情報」「要点」を読み取るスキルが身につくように、丁寧に段階を追った課題をUnitに設定しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体: UnitやLR 2年U6 (p.69) / 3年RLE3 (p.39)、LR2 (p.92) など 各学年UnitのRead and Think (1年p.66 など)
10 他教科との関連	㉑CLILには対応しているか。	<ul style="list-style-type: none"> CLIL(内容言語統合型学習)への対応として、他教科での学習を生かすもの、現代的な諸課題に対応するものなどを扱っています。 	1年Learning Literature in English (p.123) / 3年Learning Science in English (p.40) など
	㉒道徳教育との関連が図られているか。	<ul style="list-style-type: none"> 道徳の学習指導要領の内容に配慮して題材を取り上げています。特に、平和や国際理解・国際貢献の視点から、多様な国々を取り上げることで、世界へ目を向け、視野を広げ、それぞれの国が大事にしていることの理解につなげています。 	1年U8 (p.91) / 2年LR2 (p.84) / 3年U2 (p.19) など
11 造本上の工夫	㉓判型・ページ数は適切か。	<ul style="list-style-type: none"> 指導時間を配当するページは増やさず、生徒が発信するためのヒントを探し出す資料を紙とデジタルで手厚く用意しました。 A4判を採用し、視覚資料を大きく掲載できるようにしたほか、デジタルでは対応できない手書きでの書き込みスペースを確保しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 各学年Word Room (1年p.140 など) / 各学年巻末Small Talk (2年p.145 など) 全体 (3年p.135 など)
	㉔軽量化への配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> 従来品に比べて軽量化を図り、重さに配慮しています。 	
12 今日的な課題	㉕SDGs	<ul style="list-style-type: none"> 1~3年を通して、SDGsの17の目標に関連した題材を豊富に取り上げています。 発達段階を考慮し、特に3年では、各題材をSDGsとの関連を図って取り上げ、生徒が世界のためにできることをさまざまな視点から考える助けとなるようにしています。 	1年U8 (p.91) / 2年LR3 (p.104) / 3年前見返しなど
	㉖多様性・人権	<ul style="list-style-type: none"> 題材や人物の出身地は、多様な世界の国々・地域から設定し、外国語や異文化に対する理解を深めることができます。また男女のバランスにも配慮しています。 Stage Activityでは多様な人々が暮らすカナダやそこに暮らす子供たちを題材とし、映像教材などを通じてダイバーシティについて深く考える機会を豊富に用意しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 1年: 南アフリカ(U1)、ニュージーランド(U4)、イギリス(U6-7)、ケニア(U8) 2年: シンガポール(U1)、アメリカ(U4) 3年: インド(U5)、アフガニスタン(U6) など 各学年SA (1年p.54 など)
	㉗防災・安全	<ul style="list-style-type: none"> 3年間を通して防災や安全の視点を重視しています。特に日本国内の国際化に目を向け、災害時の外国人支援について取り上げています。 	3年U4 (p.51) など
	㉘環境・資源エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> 動物や自然を保護する大切さとその理由や、今日我々が直面する環境問題やエネルギー問題を、テーマとして大きく扱っています。 	2年LR3 (p.104) / 3年U3 (p.31)、LR2 (p.92) など

「QRコード」は、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。【会社名ロゴ】

The United Nations Sustainable Development Goals web site: <https://www.un.org/sustainabledevelopment/>

The content of this publication has not been approved by the United Nations and does not reflect the views of the United Nations or its officials or Member States.